

『生命いのち(美人)』

(c) *kazuo.korenaga*

『生命(いのち)美人』

一本の光ひかりが天空でんくうをさすように貴女あなたの凜りんとしたあいきさが
どんなに皆を勇気づけたか
女王のごとく聡明(そうめい)さにあふれていた
ジャンヌ・ダルクのように希望をあたえた

机の鉛(えん)めが貴女あなたの心と同じように
キラキラと輝いていた
青春は輝(かが)やくものを探(さが)す旅(たび)かもしれない

貴女(あなた)はもう勝利者(しょうりしゃ)である
世間(よかん)せけん(せん)の形式(けいしき)に染(そ)まることなく
清浄(せいじょう)せいな女性(にょせい)ひとの門(かど)もんを開(ひら)くことを願(ねが)う

貴女(あなた)がそのような舞台(ぶたい)に立つたとき
私はあの鉛(えん)めたちと「万歳(ばんざい)ぼんざい」と叫(こゑ)さけぶだろう
あなたに最高の称号(しょうごう)しょうこうを贈(たま)ろう
それは『生命(いのち)美人』

こころがたからです

崇高すうこうに生きる人ほど美しいことはない

平和を願う人が不幸になるわけがない

お金も大事である。それ以上に心が大事である

偽りいつわりの男も去って、仮面をかざった男も去るだろう

一隅いちごうを照らすてらす人ひとこそ幸せしあわせになる権利けんりがある

君きみよ、永遠えいえんに微笑みほほえみの女王じよおうになつてくれたまえ

その心根こころねのなかに幸せしあわせがある

どんなに苦しむるとき、悲しいかなしいときがあつても

幸せの歴史を作つてくれたまえ

お父さん、お母さんにありがとうと言つてくれたまえ

何があるうとも、悠々ゆうゆうと

強い女性ひと、優しいやさしい女性ひと、そして慈しみいつくしみのある

女性ひとになつてくれたまえ

心は無限大

ことばをつむぐ人は
ところをつむぐ
人になる

心が真金ならば
なにも恐れる

ものはない
ひとは生きてのように
死んでいく

人はなぜなやむのか
なやんだぶんだけ
しあわせになる

next go

心一つで、いくらでも強くなれる。
いくらでも崇高になれる。
心には色もない、形もない、
長さもない。
しかし心は無限大に広がっていく。

地位もお金も
いつかはなくなる
かたちもあるものは
いつかはなくなる
だからみえないものを
きたえよ

細胞は応援者

人間の細胞は60兆個からなっている

そして24時間以内に1兆個が入れ替わる

毎日悪細胞と戦っている

命をむだにしてはいけない

希望はあるものだ

最悪のときあかりがみえるものです

あなたの細胞が最大な応援者なのだ

詩とはそういうもの

暗闇がなければ

悲しみがなければ

理不尽な事がなければ

愛する人がいなければ

詩は書けない

詩とはそういうものである